

WCS 用稲品種選定のポイント（極短穂茎葉型品種の紹介）

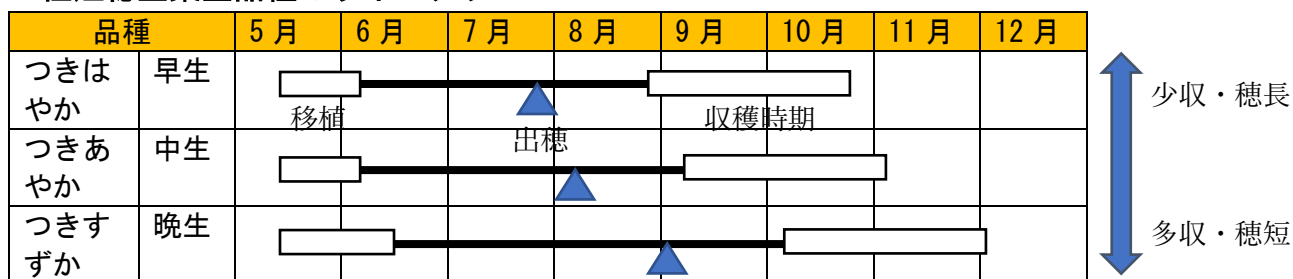
近年、栽培面積が増えている極短穂茎葉型品種（つきすずか、つきあやか、つきはやか）は、籾が少なく、茎葉が多いのが特徴です。高品質で牛の嗜好性も良く、高収量で倒伏しにくい品種です。極短穂茎葉型品種利用で収量アップ、飼料自給率アップを図りましょう！

■飼料用稲・飼料用米の奨励品種

品種名	早中晩	採用年次	稈長 (cm)	地上部乾物全重 (kg/10a)	粗玄米重 (kg/10a)	耐倒伏性	耐病性		耐冷性	脱粒性	穂発芽性	適用地帯			利用適性	
							いもち病	縞葉枯病				県南	県央	県北	稲発酵粗飼料	飼料用米
夢あおば	早	H28	87 (95)	1,980 (1,932)	710 (750)	強	不明	抵抗性	やや弱	難	中	◎	◎	◎	◎	◎
つきはやか	早	R3	105 (112)	2,103 (1,973)	304 (367)	強	不明	抵抗性	強	難	—	◎	◎	◎	◎	×
つきあやか	中	R3	110 (117)	2,131 (2,071)	150 (81)	強	不明	抵抗性	やや強	難	—	◎	◎	◎	◎	×
クサホナミ (認定品種)	晩	H22	100 (106)	2,234 (2,166)	877 (806)	強	不明	抵抗性	—	難	やや易	◎	◎	○	◎	○
つきすずか	極晩	H30	134 (122)	2,966 (2,824)	9 (61)	強	不明	抵抗性	弱	難	—	◎	◎	◎	◎	×

※基肥窒素量 12kg/10a、栽植密度 22.2 株/m²、5 月移植、() 内は 6 月移植の数値

■極短穂茎葉型品種のラインナップ



つきはやか（早生種）



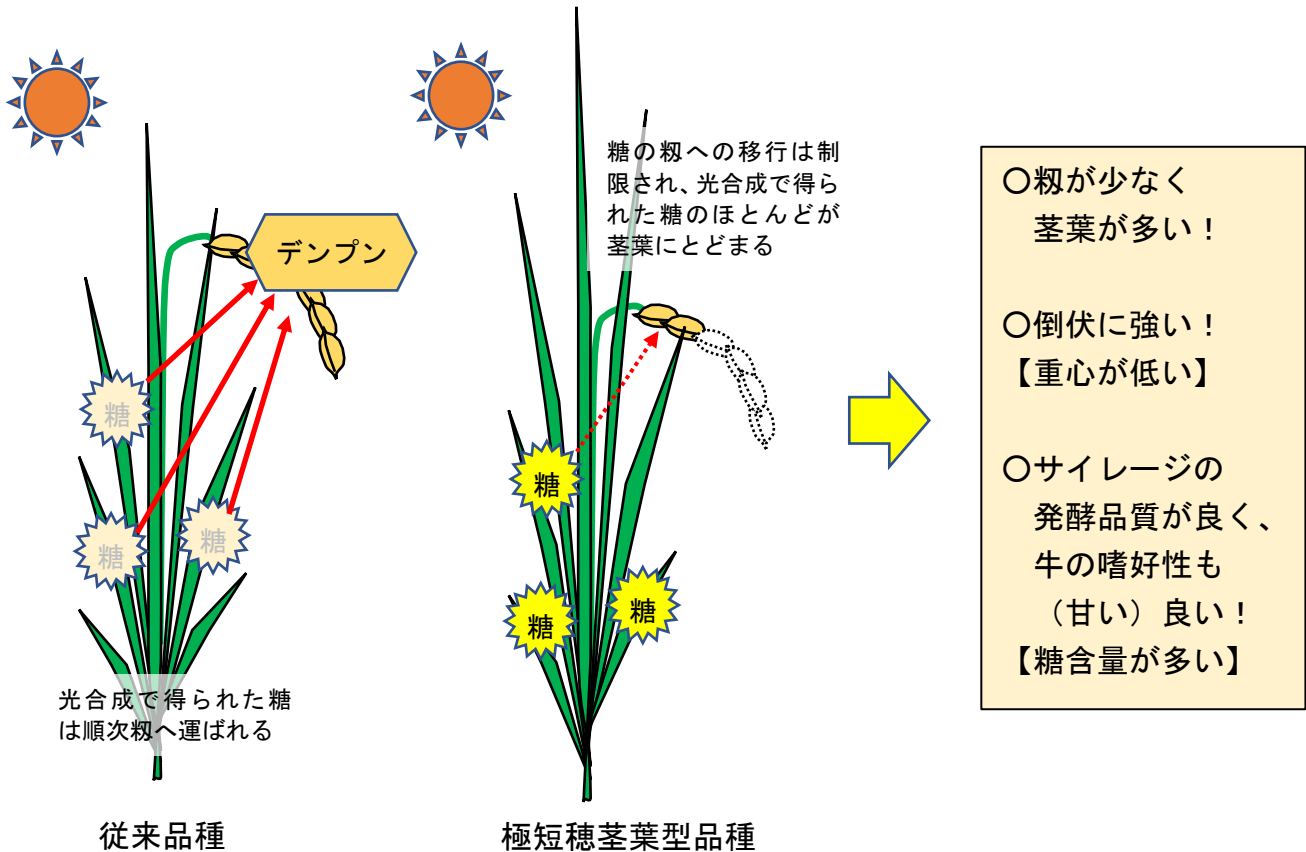
つきあやか（中生種）



つきすずか（極晩生種）



■従来品種と極短穂茎葉型品種の違い

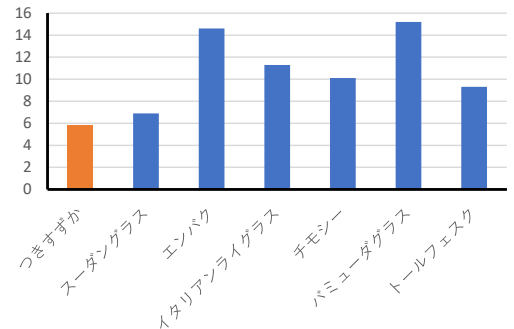


広島県立総合技術研究所 河野らを改編

■稲 WCS 利用上の留意点

- 稲 WCS は、一般的に粗蛋白質が低い^{ため}、牧草の代替飼料として利用する場合は粗蛋白質を補う必要があります。（右図）。
- 稲 WCS をはじめて給与する牛に対しては、長期間（2週間以上）かけて、徐々に慣らす必要があります。

粗蛋白質（乾物中%）



日本飼養標準2009年版より

（つきすずかは栃木県品種選定試験結果より）

■種子の入手について

栃木県産種子について予約販売が間もなく始まります。詳しくは最寄りの各市町再生協、JA、酪農協、開拓農協、県畜連等にお問い合わせください。

- 種子の供給元： 栃木県草地畜産種子協議会（栃木県畜産協会内）
- 取り扱い種子： つきすずか、つきあやか、つきはやか
- 種子発送時期： 2月予定

お問い合わせ先： 栃木県農政部経営技術課 TEL 028-623-2322